

西成特区構想 有識者座談会報告書のポイント

大阪市特別顧問:鈴木 亘

- 一体のシステムとなる8分野56の具体的提言を取りまとめ

(主な考え方) 経済性の重視(一石何鳥にもなる費用対効果が高い施策、民間でできることは民間に)
住民とともに作るプロセスの重視(プロジェクト・大型事業での住民参加の協議会の形成)
小さなすぐに目に見える成功体験を重視

1. 短期集中的に行うべき対策

(あいりん地域を中心とした諸課題への対応など)

- 野宿生活者、高齢日雇労働者、生活保護受給者の自立・就労支援
特掃事業のメニュー拡大、高齢単身生活保護受給者の居場所づくりなど
- 地域内の福祉の課題、社会的資源の活用
ワンストップ型「あいりん地域トータルケア・システム」の構築、
ケア・支援に対する費用補助または委託制度の設立、住宅扶助費の見直し、
夜間緊急避難所の建替など
- 医療問題・結核対策
野宿生活者を中心とする結核患者への総合的結核対策、
ワンストップの意思決定・対応ができる「結核対策センター」の設置など
- 治安対策、不法投棄、公園テント・小屋掛けの平和的解決
公園等の野宿生活者に対する平和的解決、大量のLED照明の街灯設置など

2. 中長期的対策

(急速な人口減少・需要減少時代を見据えた西成区全体の将来に向けて)

- 子育て施策、子育て世帯の呼び込み策
保育バウチャー等による保育料の無料化もしくは大幅減免、
各保育所・各小中学校を担当するスクール・ソーシャルワーカーの配置など
- 教育施策、教育産業振興
大学分校の誘致、大規模留学生会館の設置、西成版補習夜スぺの実施
- 国内観光・国際観光振興、アート振興策
国際ゲストハウスエリアのゾーニング、屋台村構想の実施など

3. 将来に向けての具体的な 「プロジェクト・大型事業」

実現にあたっては、

- 専門家・有識者・地元住民・関係者・事業者・
行政等を含めたエリアマネジメント協議会等
を設立し、本格的調査・検討の上、決定
- さらに日雇労働市場、あいりん総合センター
の今後については、関係行政機関による
検討会議を設置し、協議
- あいりん総合センターの今後のあり方
ハード面は住宅等の部分移転案、内容は多機能型施設
- 日雇労働市場の今後のあり方
場所を変えず規模は縮小、
就労支援、福祉支援などのワンストップ化、多機能化
- 新今宮駅前再開発のあり方
民間資本・資金を導入し、
あいりん総合センターとの連動や一体としたものへ
- 未利用地の戦略的活用
子育て世帯流入への用途限定、住宅政策、都市計画、
「関西イノベーション国際戦略総合特区」等との連携も
視野にした工業施設の誘致
- ハウジングとまちづくり
あいりん地域の超高密度居住地域の改善、
良質な住宅ストックの供給や既存ストックの転換など



これらを車の両輪として



【各対策の時間的視野のイメージ】

